

2013年3月4日

FNS^(注) 系列共同開発 クラウドセンター版
『FNS 標準営放システム V2』 サービス提供開始

株式会社フィンズ

株式会社フィンズ（以下フィンズ）は、テレビ局の基幹業務である編成・広報・営業・放送関連業務フローの共通標準化を実現した FNS 標準営放システムの次期バージョン（FNS 標準営放システム V2）をクラウドセンター方式にて 2013 年 3 月より FNS 系列局に対してサービスを開始しました。

1999 年 4 月から稼働している FNS 系列全 28 社を結ぶ情報交換ネットワーク網およびシステム基盤（略称 FNS ネットコム）は 2012 年 10 月よりフィンズが提供する新たなインフラ環境へ移行しました。また、FNS 系列間で有用な業務情報を提供する各種アプリケーションはフィンズが構築した『FNS 情報システムセンター』で既に稼働しています。

このたび、FNS 系列局で共同開発してきた FNS 標準営放システム V2 が完成し『FNS 情報システムセンター』上に実装、さらに大災害時の活用を想定したバックアップセンターを含む各種システムテストが終了し、FNS 系列局に利用していただける環境が整いました。

FNS 系列では、既に 2008 年から次世代におけるテレビ局情報システム部門のあり方や、放送関連システムのあるべき姿について研究を重ね、クラウド方式によるセンター化という具体的な方式を確定し、この『FNS 情報システムセンター』の構築・運営がフィンズに任せられました。クラウドセンター方式に対応する次期 FNS 標準営放システムも機能面、性能面の向上を成し遂げ、当初の予定通り、2013 年 3 月の稼働を迎えることができました。

テレビ局の基幹業務システムが『FNS 情報システムセンター』で稼働したことで、当初からの目的である FNS 系列局のシステム設備資産や保守運用コスト、業務負荷の削減、また、情報の安全性やセキュリティなど信頼性の強化が実現のものとなります。さらに、基幹業務の事業継続計画（BCP）に対応できる情報システム基盤を系列全社で備えることに成功しました。

また、フィンズでは 2012 年秋より、メール・グループウェアの情報サービスも提供しており、2012 年 11 月からフジテレビジョン様にて本番利用していただいています。今春以降、FNS 系列局やフジ・メディア・ホールディングス関連会社の利用が予定されています。

フィンズは、テレビ局が必要としている情報システム基盤を備えました。今後もこの基盤をベースに FNS 系列をはじめとする各テレビ局、また、放送業界と同等のサービスレベルを求める会社の企業価値の向上に貢献できるよう様々なサービスを企画、提供してまいります。

(注) FNS : Fuji Network System フジネットワーク

<問い合わせ先>

株式会社フィンズ 総務部長 桑原 哲夫 Tel : 03-5520-1580